

須坂市観光協会は23日、結婚から12年の記念日「絹婚式（きぬこんしき）」を祝うイベントを、同市野辺の須坂アートパークで開いた。2003年に結婚した県内の夫婦8組が参加し、メッセージを交換したり、記念撮影したりして祝った。

かつて製糸業で栄えた同市の歴史にちなんだイベントで、3年目。会場はプロポーズに適した場所として、静岡市のNPO法人から「恋人の聖地」に認定されている。

各夫婦は「12年前に結婚してくれてありがとう」「100歳になるまでよろしくお願いします」といったメッセージを交換。同協会はブドウなどの記念品を贈った。

その後、聖地認定のモニュメント前で記念撮影。開いた本の形をした台座の上に直径約1・3メートルのリングが置かれたモニュメントは、日が当たると台座にハートマークの影が浮かび上がる。参加者はハートマークと共に写真に納まった。

長野市川中島町の会社員永山佳輝さん（38）は「自分は不器用なので、感謝の気持ちを伝えるいい機会になった」。妻の友希江さん（37）は「もらったメッセージは一生取っておきます」と笑顔だった。



モニュメントを前に、家族で写真に納まる参加者

「恋人の聖地」に認定されている。